

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和1年5月30日(2019.5.30)

【公開番号】特開2017-192540(P2017-192540A)

【公開日】平成29年10月26日(2017.10.26)

【年通号数】公開・登録公報2017-041

【出願番号】特願2016-84304(P2016-84304)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 F

A 6 3 F 5/04 5 1 2 D

【手続補正書】

【提出日】平成31年4月12日(2019.4.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、複数のリール(R1, R2, R3)と、

役の内部抽選を行う内部抽選手段(120)と、

前記複数のリールの回転態様及び停止態様を制御するリール制御手段(130)と、

前記複数のリールが停止した場合における有効ライン(L1)上の図柄組合せに基づいて、役の入賞判定を行う入賞判定手段と、

複数の遊技状態の間での遊技状態の移行に係る制御を実行する遊技状態移行制御手段(170)と、

特定役の入賞を補助する入賞補助制御が実行されるアシストタイム状態と、前記入賞補助制御が実行されない非アシストタイム状態と、の間での移行に係る制御を行うアシストタイム状態制御手段(200)と、

前記アシストタイム状態制御手段によって更新される値を記憶するカウンタ記憶手段と、を備え、

前記複数の遊技状態は、

第1遊技状態と、

前記第1遊技状態から移行可能な第2遊技状態と、を含み、

前記内部抽選で当選可能な役には、第1役と、第1役とは異なる第2役と、を含み、

前記アシストタイム状態制御手段は、

遊技状態が前記第1遊技状態である遊技において前記第1役を入賞可能な場合と、遊技状態が前記第2遊技状態である遊技において前記第2役を入賞可能な場合と、に、前記カウンタ記憶手段の記憶する値を更新する更新処理を実行可能である、ことを特徴とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数のリールと、

役の内部抽選を行う内部抽選手段と、

前記複数のリールの回転態様及び停止態様を制御するリール制御手段と、

前記複数のリールが停止した場合における有効ライン上の図柄組合せに基づいて、役の入賞判定を行う入賞判定手段と、

複数の遊技状態の間での遊技状態の移行に係る制御を実行する遊技状態移行制御手段と、

特定役の入賞を補助する入賞補助制御が実行されるアシストタイム状態と、前記入賞補助制御が実行されない非アシストタイム状態と、の間での移行に係る制御を行うアシストタイム状態制御手段と、

前記アシストタイム状態制御手段によって更新される値を記憶するカウンタ記憶手段と、を備え、

前記複数の遊技状態は、

第1遊技状態と、

前記第1遊技状態から移行可能な第2遊技状態と、を含み、

前記内部抽選で当選可能な役には、第1役と、第1役とは異なる第2役と、を含み、

前記アシストタイム状態制御手段は、

遊技状態が前記第1遊技状態である遊技において前記第1役を入賞可能な場合と、遊技状態が前記第2遊技状態である遊技において前記第2役を入賞可能な場合と、に、前記カウンタ記憶手段の記憶する値を更新する更新処理を実行可能である、

ことを特徴とする遊技機。